

ともだちのよさ、じぶんのよさに目を向けよう！

— 人権尊重教育を学校・家庭・地域（関係者）で推進することが大切です —

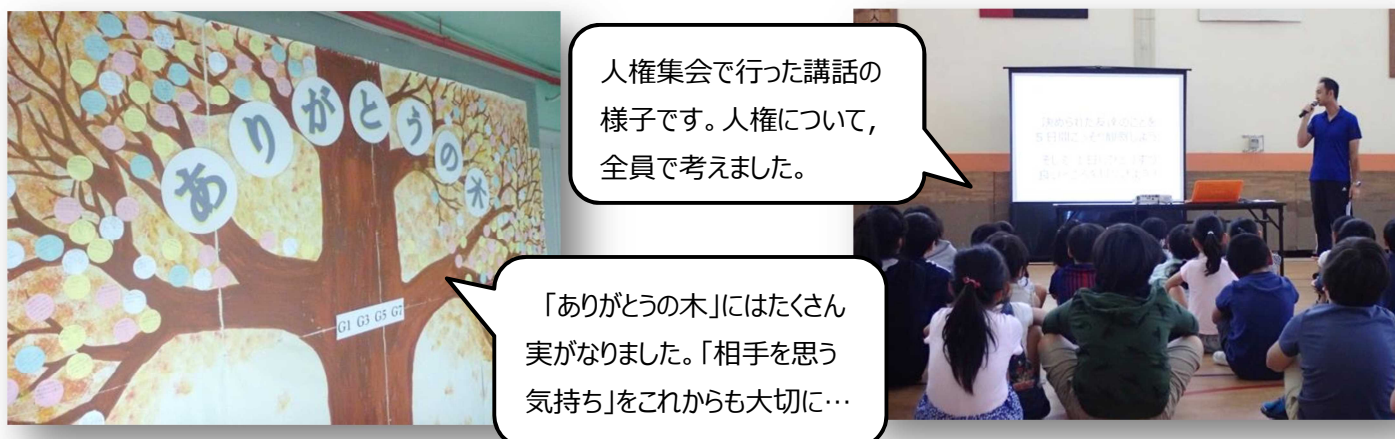
校長 山本昭比古

第3回国連総会で、基本的人権をうたった「世界人権宣言」が採択されたのは1948年12月10日。「世界人権デー」の淵源となった日から、今月で69周年を迎えました。本校では先月6日から23日まで「人権旬間」として様々な取り組みをしました。主な内容は、①人権講話、②「ありがとうの木」（仲間や自分に向けたメッセージ）、③道徳の授業（人権の視点からの授業）、④「フィンガー5」（ぼくのよさ・私のよさ）ですが、一人一人の児童生徒には意欲的な姿が見られました。

『ありがとうの木』には、「〇〇ちゃんへ。いつもわたしのことをかんがえてくれてありがとう」「教科書を落とした時にひろってくれてありがとう」「みんながうれしくなるように折り紙をを一緒に折ってくれてありがとう。おかげでみんながうれしくなりました」「授業が終わってもノートを一生懸命にとっていたね。すごいと思ったよ」「すながたまっている所を掃除していたね。だから教室がきれいになったよ」

「アラビア語のテストは難しかったけど自分なりにがんばれたよ」「すすんで明日の予定を書いてくれたね。字がきれいなので写しやすかったよ」「美術の時、花の描き方を細かく教えてくれたね。ありがとう」「マラソンをがんばったね」「私がわからないときに親切に教えてくれたね。うれしかったよ」など、数え切れないほどのメッセージがありました。

広く考え、身近な場で行動できることはすばらしいなあと思うとともに、とてもうれしくなりました。私自身、かつて、東京都人権尊重教育推進校を2年間、実践しましたが、今、わたしたちのまわりには、「女性」、「子供」、「高齢者」、「障害者」、「同和問題」、「アイヌの人々」、「外国人」、「HIV感染者・ハンセン病患者等」、「犯罪被害者やその家族」、「インターネットによる人権侵害」、「北朝鮮による拉致問題」、「路上生活者」などの人権課題があります。その課題解決に向けて様々な取組がされていますが、いまだに十分とは言えません。人権意識は一度学べばいいというものではなく、繰り返し学び続けることが大事です。自分なりに今回の人権旬間で考えたこと、思ったこと、気付いたことなどを大切にしながら、改めて自分の人権意識を少しずつ高めていきましょう。



ドバイ日本人幼稚園 新園舎オープン！

12月18日、ドバイ日本人幼稚園の新園舎オープニングセレモニーが開催されました。

在ドバイ日本国総領事館の梅澤総領事、KHDA（ドバイ教育省）のカラム長官、シャラフグループのサラール・シャラフ様をはじめ、多くのお客様にご来園頂き、皆様に温かくお祝いをして頂きました。子ども達からは元気なメッセージや歌、楽器演奏を披露し、大きな拍手を頂きました。テープカット式では、年長児達の持つリボンと大人6人が掛け声と共にカット致しました。記念すべき幼稚園の門出の式が晴れやかに挙行出来ました事を、皆様に心よりお祝い申し上げます。



年長児と来賓の皆様によるテープカットの様子です。
(写真右)。

またセレモニーでは園児たちみんなで歌やメッセージなどを披露しました(写真左)。

《冬休みに向けて》

本日で2学期が終わります。熱沙祭、デイキャンプ、砂漠キャンプなどの大きな行事をはじめ、様々な活動がありました。一つ一つの行事を通して、児童生徒が団結し、協力し合いながら成長していく様子を見て、とても頼もしく感じました。また毎日の学習にも更に熱心に取り組み、それぞれの課題に真剣に向き合っている姿もたくさん見られました。2学期の学習をふり返り、3学期には新たな目標を持って取り組んで欲しいと願います。

明日から冬休みとなります。生活のリズムを崩しすぎないように、そして3学期への見通しが持てるように、ご家庭でもお子さんと一緒に計画を立ててみてください。また夏休み同様、事件や事故にあわないように安全面にもご配慮くださいますよう、お願いいたします。新年を迎えるにあたって、有意義な冬休みとなることを期待しております。

保護者の皆様におかれましては、これまでの教育活動に深いご理解と温かいご協力を賜り、ありがとうございました。今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。どうぞ、良い年をお迎えください。

《連絡先》



【通常】 04-344-9119 (職員室)

【緊急】 050-655-3828 (校長・山本)

050-459-2918 (教頭・尾崎)

055-115-8425 (教務主任・福本)